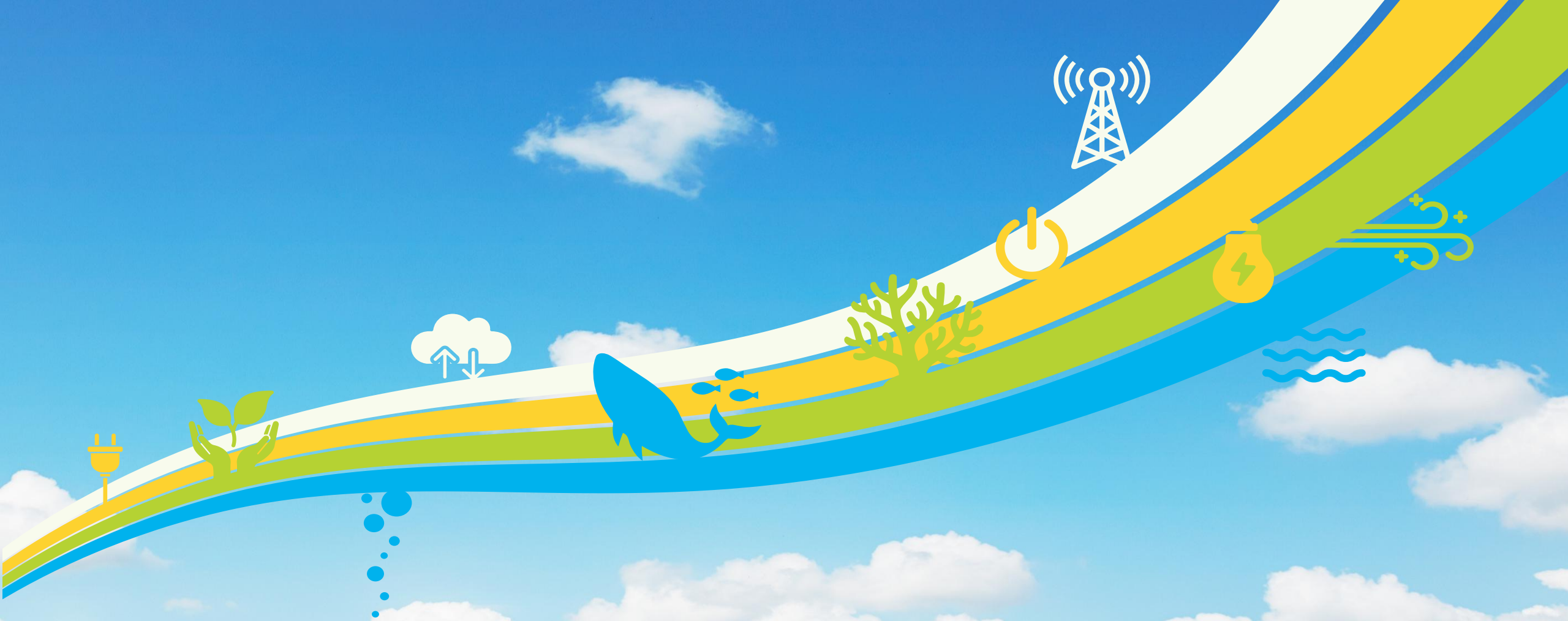




日比谷総合設備株式会社

(証券コード：1982)

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

2026年8月6日



01

**第9次中期経営計画の初年度として
高成長と高収益性の両立による
順調なスタート**

■ 受注高

主に、クラウド化やAIの進展を背景とした急速に
拡大するデータセンター市場への対応により、
受注高560億円となり、期初通期予想に対して43.1%
の進捗。

■ 売上高

売上高178億円となり、対前年同期▲12億円の微減。
ただし、今後データセンター案件の売上計上が
本格化することから、通期予想は達成の見込。

■ 利益

営業利益21億円となり、
対前年同期+5億円と大幅増益。
引き続き9次中計の達成に向けて、
「成長に資する施策」を着実に実施していく。

02

**データセンター分野を成長ドライバーと捉え、
戦略的集中により受注高500億円超を達成**

通信分野における実績とNTTデータと共同で開設した
DCTFの高度化・活用を通じて受注を積極的に拡大し、
大型を含む複数のデータセンター案件を着実に受注。
「データセンター/情報」の受注高は前年同期の実績を
大幅に上回る419億円となり今後の成長を牽引。

03

**手持ち工事高1,413億円
今年度売上予想の61.4%を既に確保**

手持工事高は前年同期832億円に対して1,413億円となり、
大幅に増加。
翌年度売上計画に対しても既に50.5%を確保しており、
9次中計達成に向けた強固な収益基盤を構築。

04

**営業利益率は12.2%となり、
対前年同期で3.7ポイント増加**

戦略的営業活動の継続による効果や生産性向上の取り組みにより
利益創出力は着実に向上し、売上総利益率は25.5%となり、
対前年同期で6.3ポイント増加。
持続的成長の実現のための「人的資本への積極的な施策」についても
着実に実施。

05

**自己株式取得
1,950,000株/67億円実施**

バランスシートマネジメントを通じて資本効率の改善と
ROEの向上を図るべく、適切かつ機動的に実施



2027年3月期 第1四半期 決算ハイライト

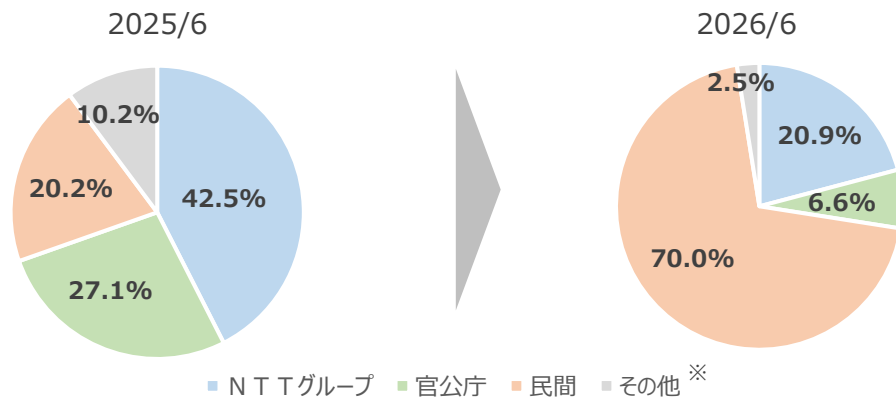
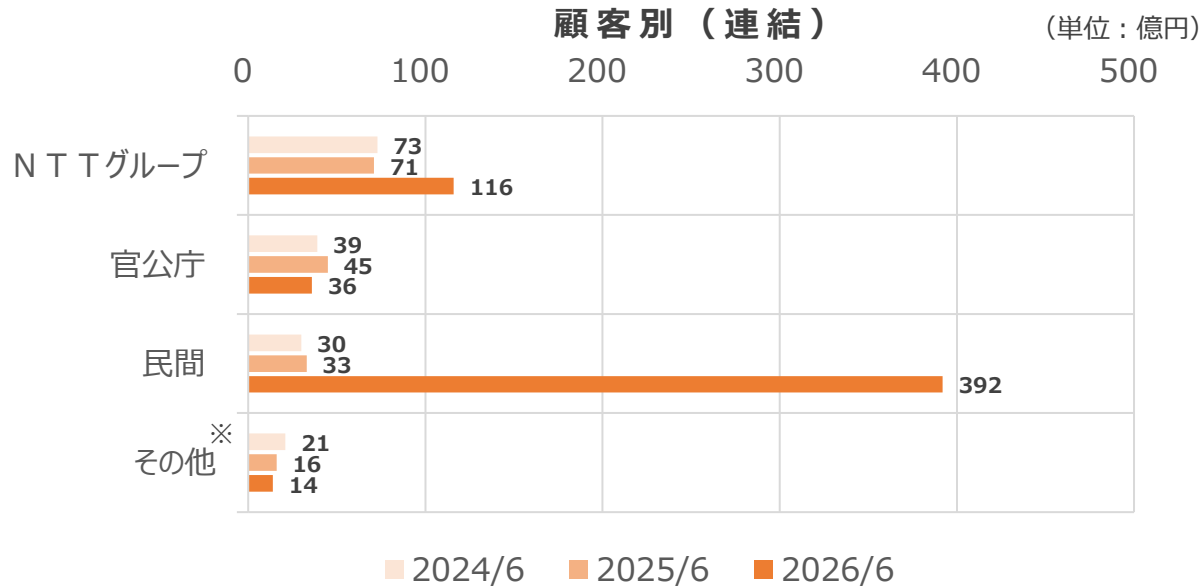


受注高	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
560億円	178億円	21億円	25億円	17億円
前年同期比 +235.8% (+393億円)	前年同期比 ▲6.5% (▲12億円)	前年同期比 +33.7% (+5億円)	前年同期比 +31.6% (+6億円)	前年同期比 +28.0% (+3億円)

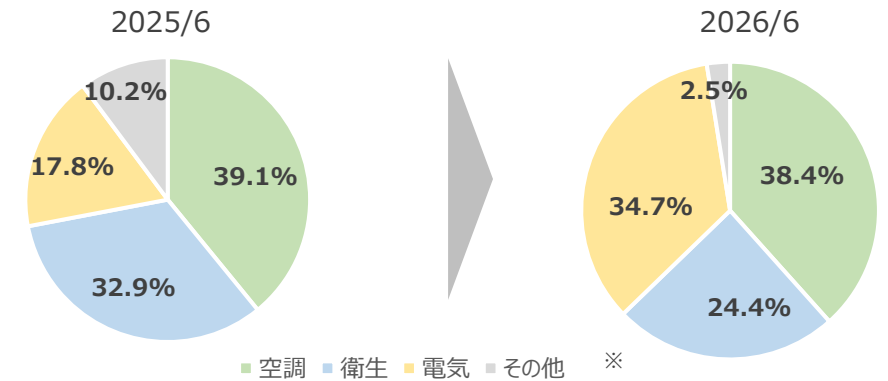
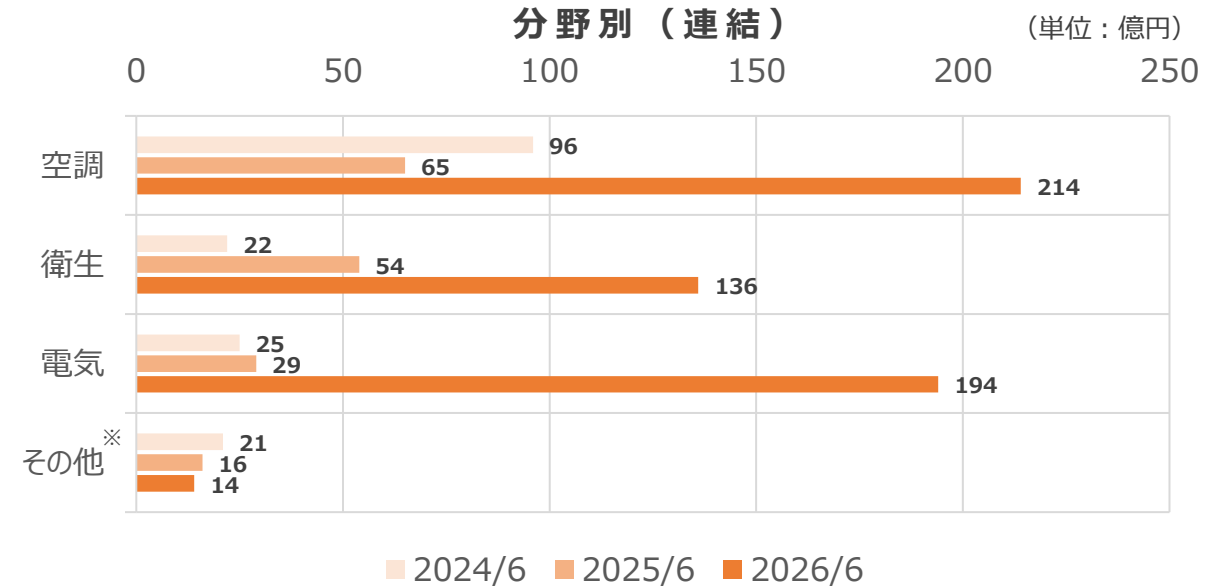
	2024/6	2025/6	2026/6			2027/3	2026/6現在
(単位：億円)	実績	実績	実績	増減額	増減率	通期業績予想	進捗率
受注高	165	167	560	+393	(+235.8%)	1,300	(43.1%)
売上高	175	190	178	▲12	(▲6.5%)	1,050	(17.0%)
売上総利益	29	36	45	+8	(+23.9%)	231	(19.7%)
売上総利益率	17.0%	19.2%	25.5%	－	(+6.3pt)	22.0%	－
営業利益	9	16	21	+5	(+33.7%)	110	(19.7%)
営業利益率	5.5%	8.5%	12.2%	－	(+3.7pt)	10.5%	－
経常利益	12	19	25	+6	(+31.6%)	118	(21.2%)
親会社株主に帰属する 四半期純利益	8	13	17	+3	(+28.0%)	87	(20.0%)

受注高 顧客別/分野別（連結）

- 「民間」は、大型データセンター案件等の受注により、対前年同期で大幅に増加。
- 結果、受注高における「民間」の構成比は70.0%と大きく増加。



- 「空調」「衛生」「電気」各分野とも大きく増加。
- 特に大型データセンター案件受注に伴う「電気」の増加が顕著。

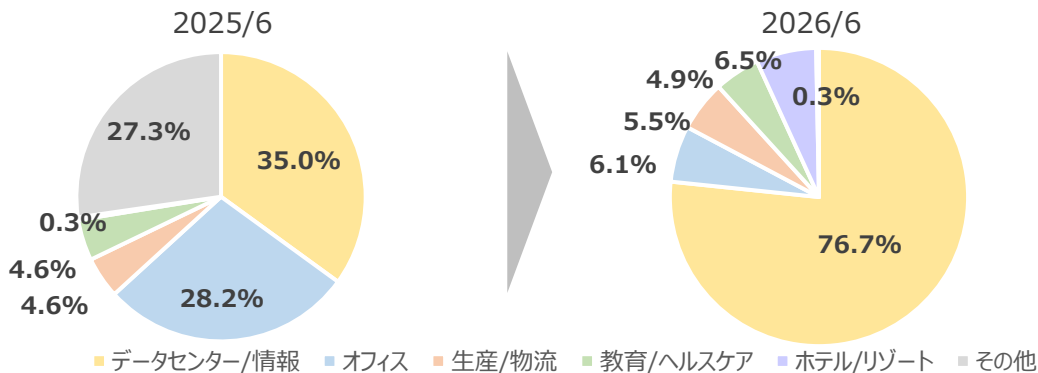
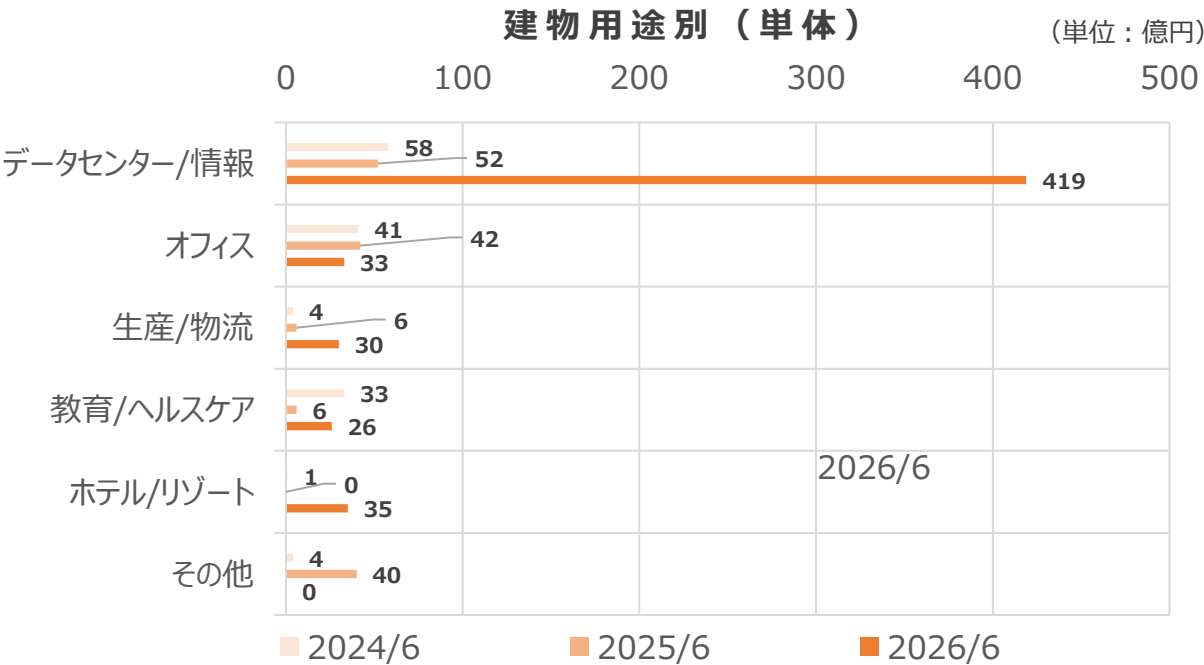




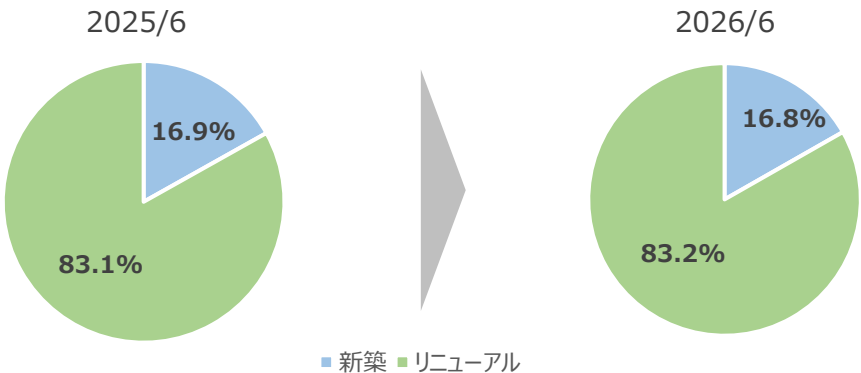
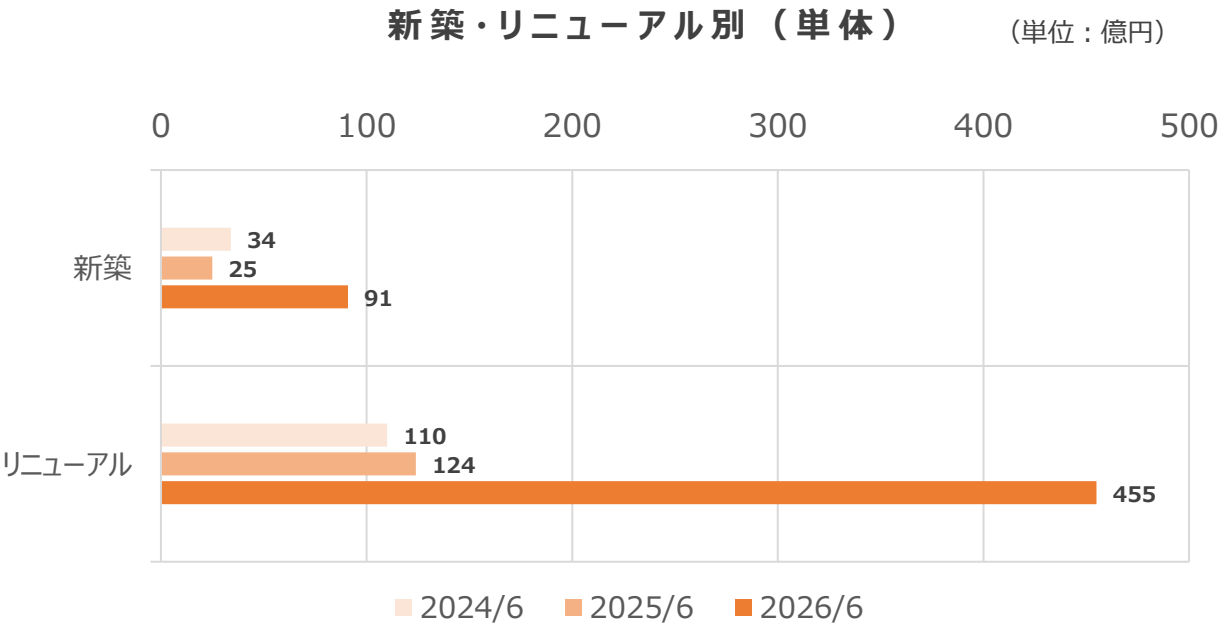
受注高 建物用途別/新築・リニューアル別（単体）



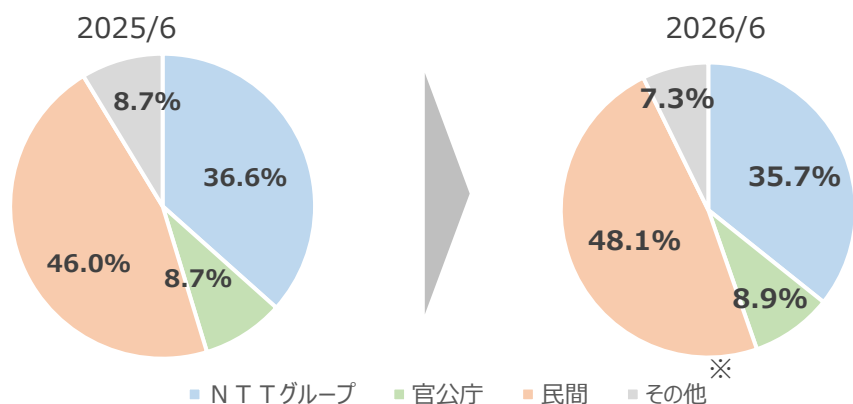
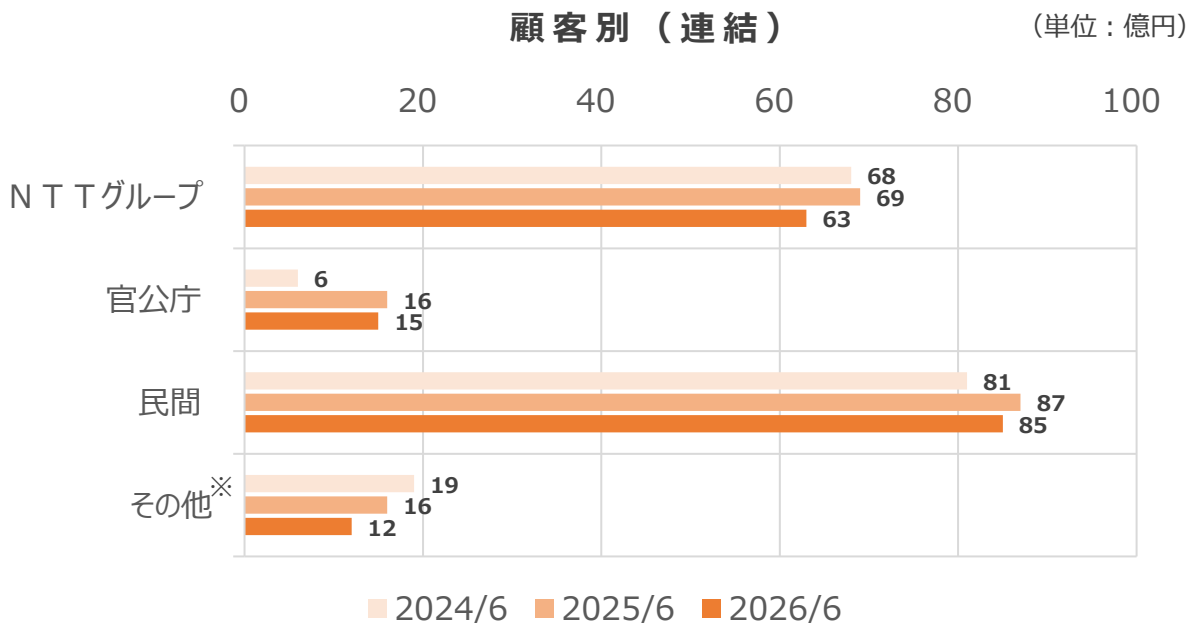
- 大型データセンター案件の受注により、「データセンター/情報」の構成比が76.7%まで増加。
- 「ホテル/リゾート」「教育/ヘルスケア」「生産/物流」でも受注あり、対前年同期で増加。



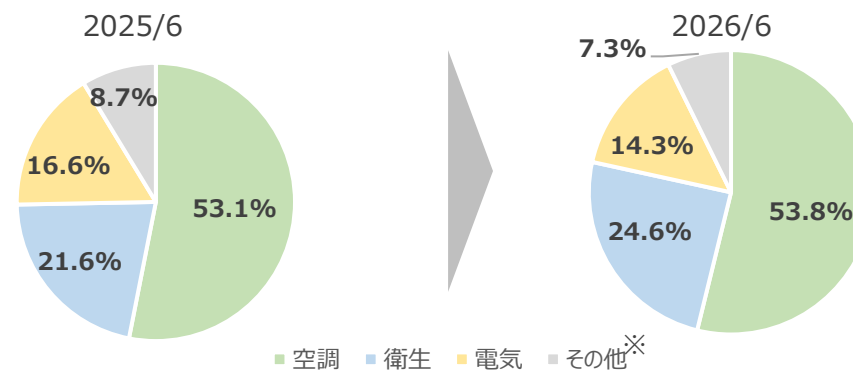
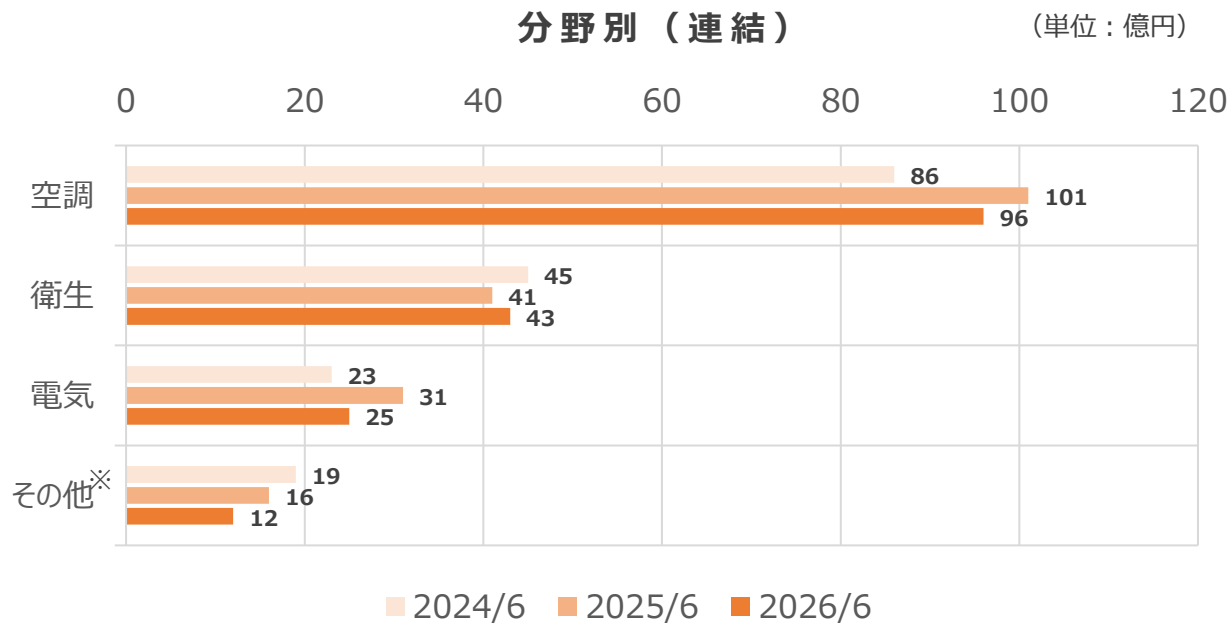
- 「リニューアル」は、データセンターフィットアウト工事案件の大口受注により、対前年同期で大幅に増加。
- 「ホテル/リゾート」等の「新築」案件も対前年同期で増加したため、構成比は同水準で推移。



- 全顧客において対前年同期微減となっているが、今後、主にデータセンター案件の売上計上が本格化の見込。



- 引き続き「空調」「衛生」「電気」各分野において、バランスよく売上計上。





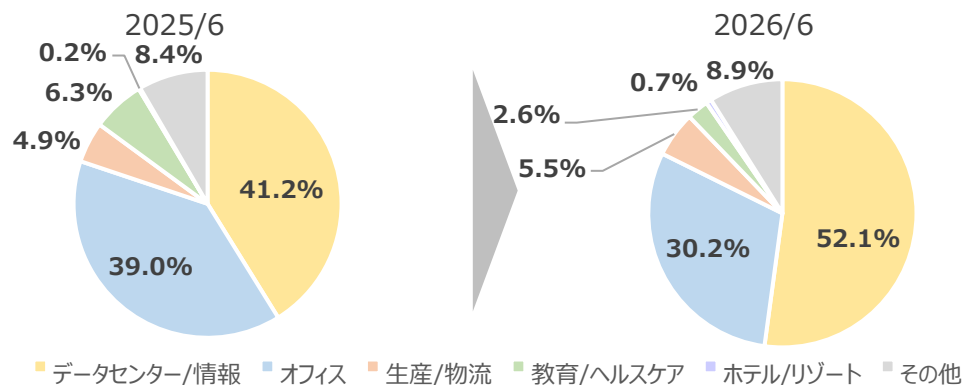
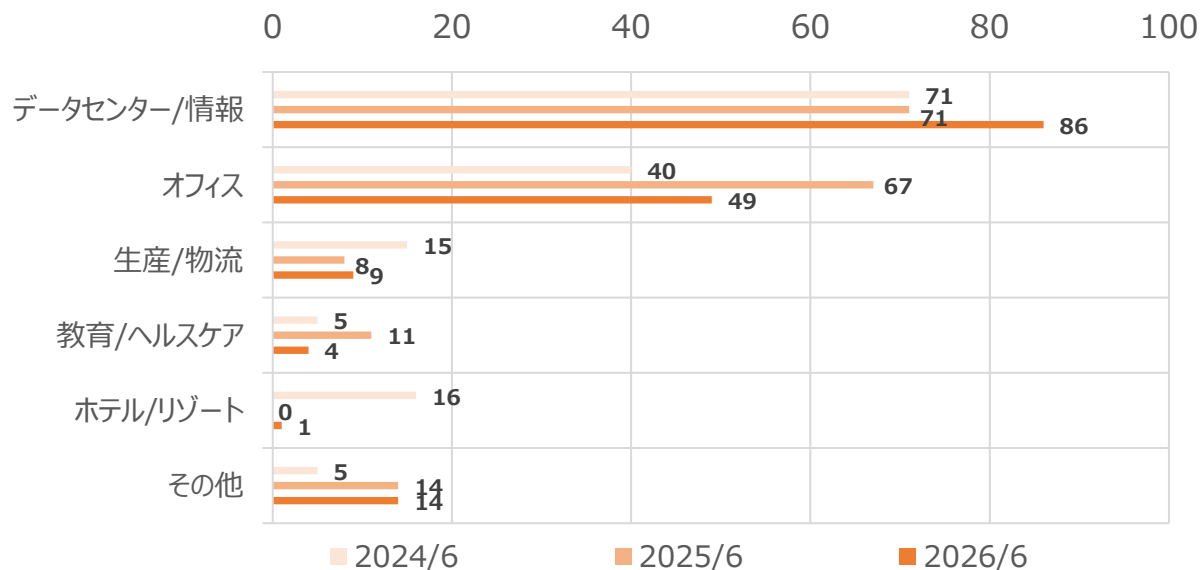
売上高 建物用途別/新築・リニューアル別（単体）



- 「データセンター/情報」の工事が順調に進捗し、対前年同期で増加。構成比は52.1%まで増加。
- 「データセンター/情報」以外の建物用途においても、順調に工事進捗。

建物用途別（単体）

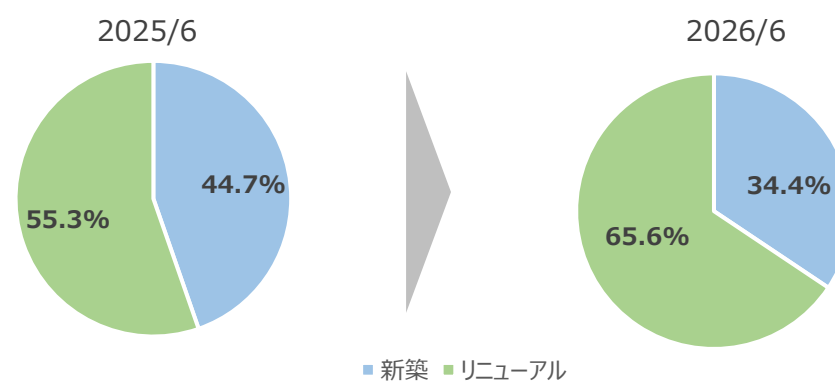
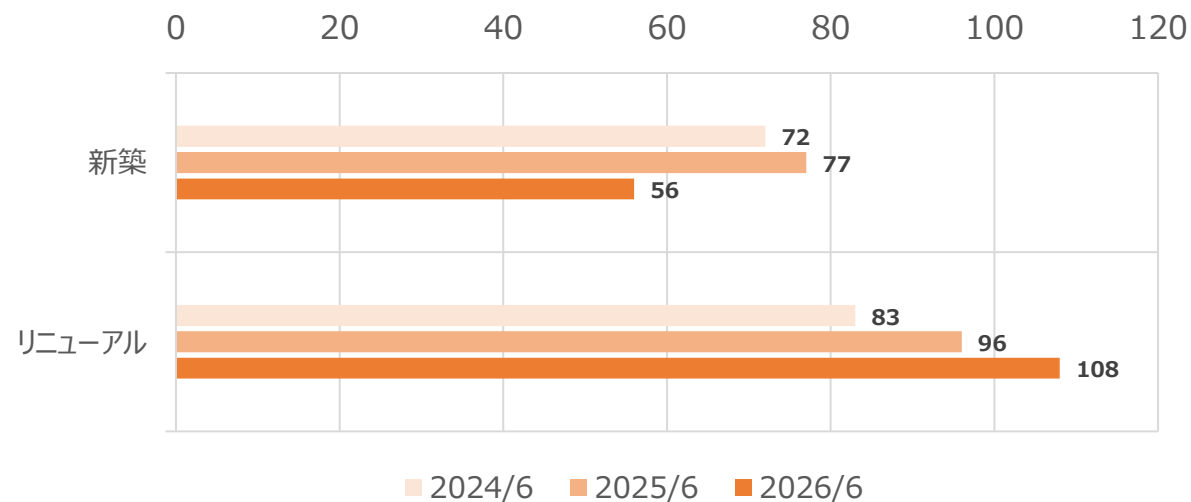
（単位：億円）



- データセンターのフィットアウト等の工事が順調に進捗し、「リニューアル」は対前年同期で増加。
- 「リニューアル」の構成比は65.6%と対前年同期10.3ポイントの上昇。

新築・リニューアル別（単体）

（単位：億円）





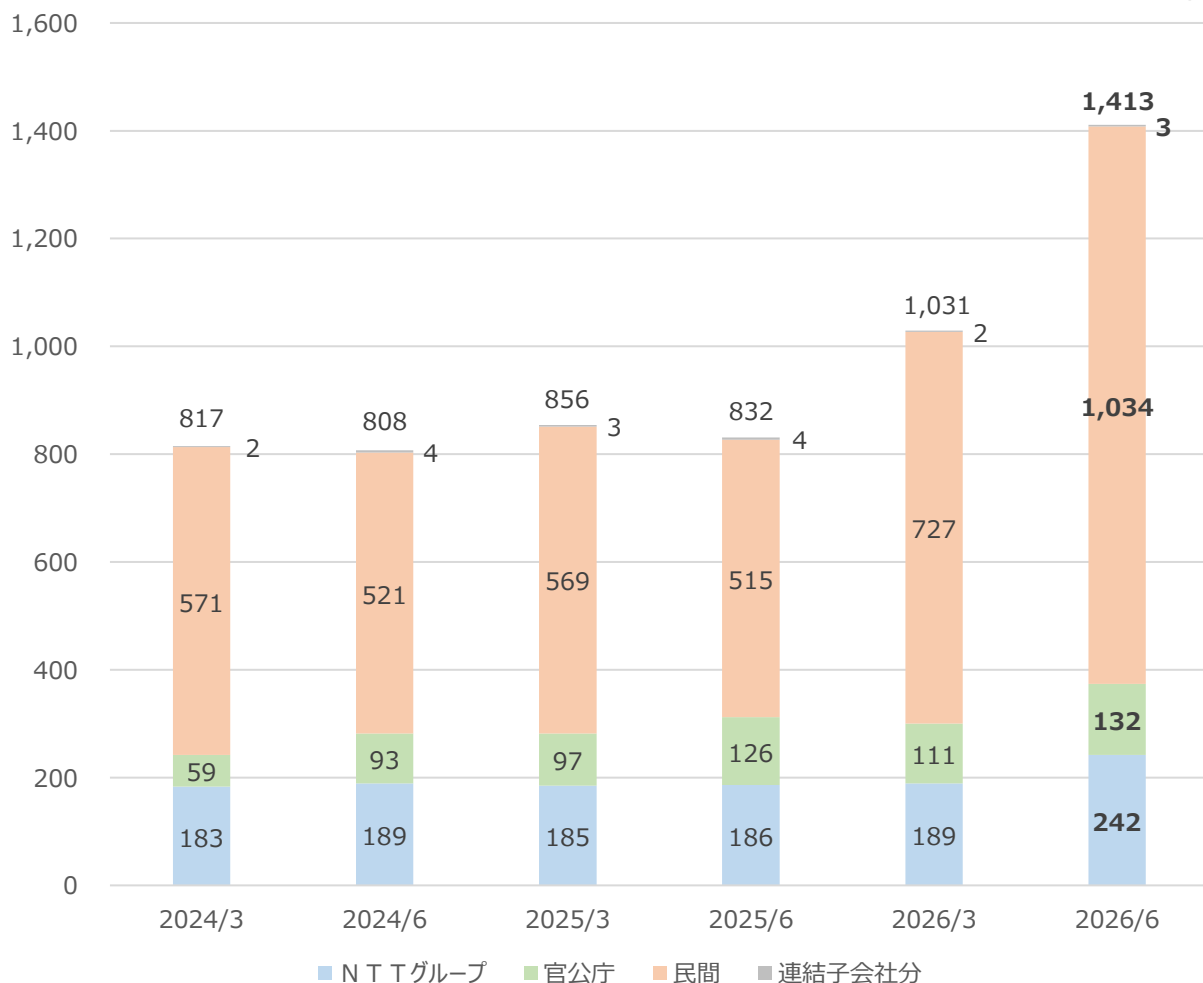
手持ち工事高 顧客別/分野別（連結）



- 民間の大型データセンターを含む複数案件受注により、手持ち工事高は1,413億円と大きく増加。

顧客別

(単位：億円)



- 民間の大型データセンター案件を主因として、「空調」「衛生」「電気」各分野ともバランスよく増加。

分野別

(単位：億円)





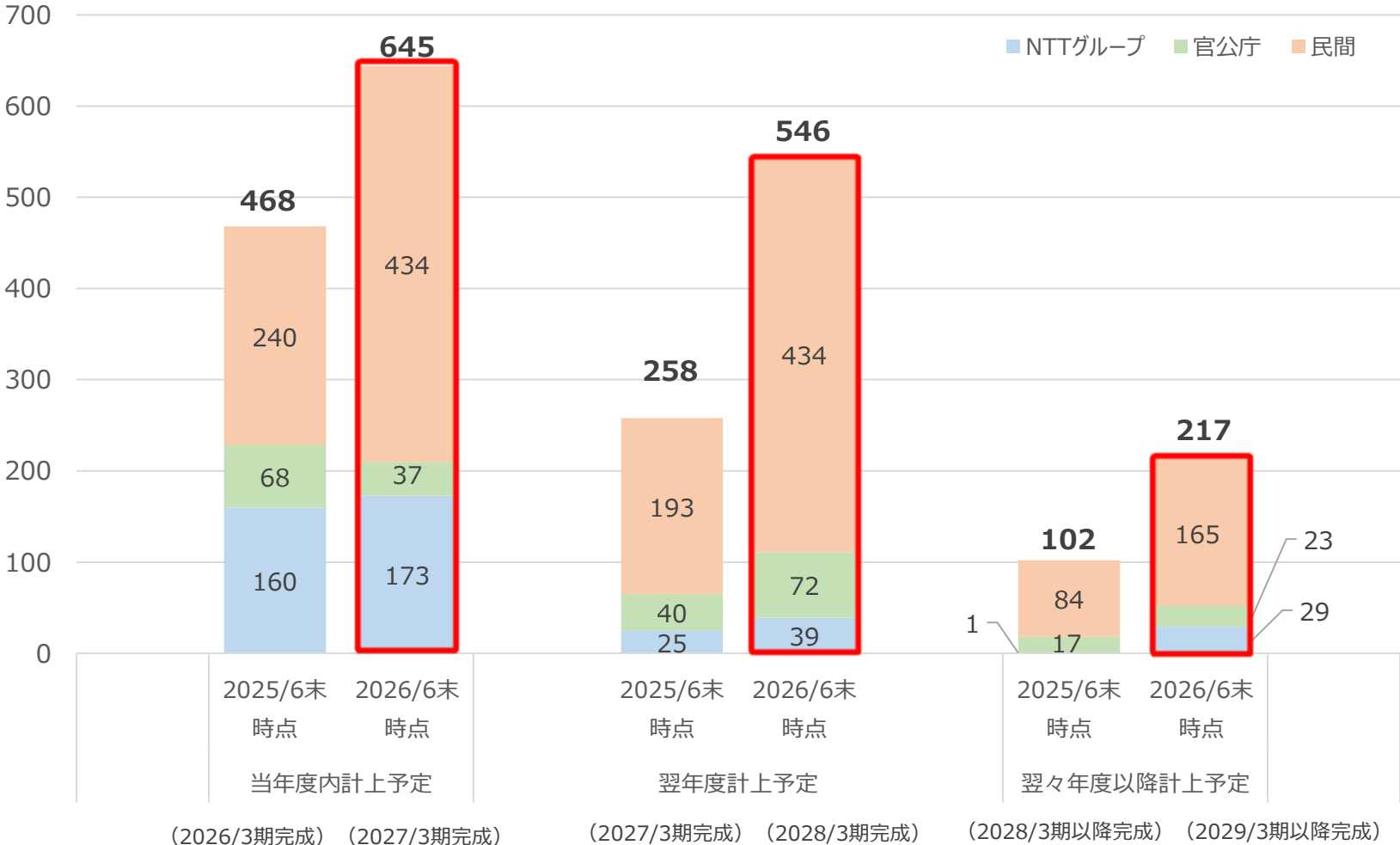
手持ち工事高 年度別売上計上予定額（単体）



- 手持ち工事高は、当年度・翌年度・翌々年度以降それぞれの売上計上予定額が対前年同期で大きく増加。
- 当年度売上計画に対して61.4%、翌年度売上計画に対しても既に50.5%を確保しており、翌々年度以降売上計上案件も217億円と9次中計達成に向けて、先を見据えた強固な収益基盤を構築。

年度別売上計上予定額 (単位：億円)

売上高カバー率 (単位：億円)



売上計上 予定年度	計上予定額 2026/6時点 ①	9次中計売上高 計画値 2026.5.13発表 ②	計画値カバー率 2026/6時点 ①÷②×100
2027/3期	645	1,050	61.4%
2028/3期	546	1,080	50.5%
2029/3期	217	1,130	19.2%



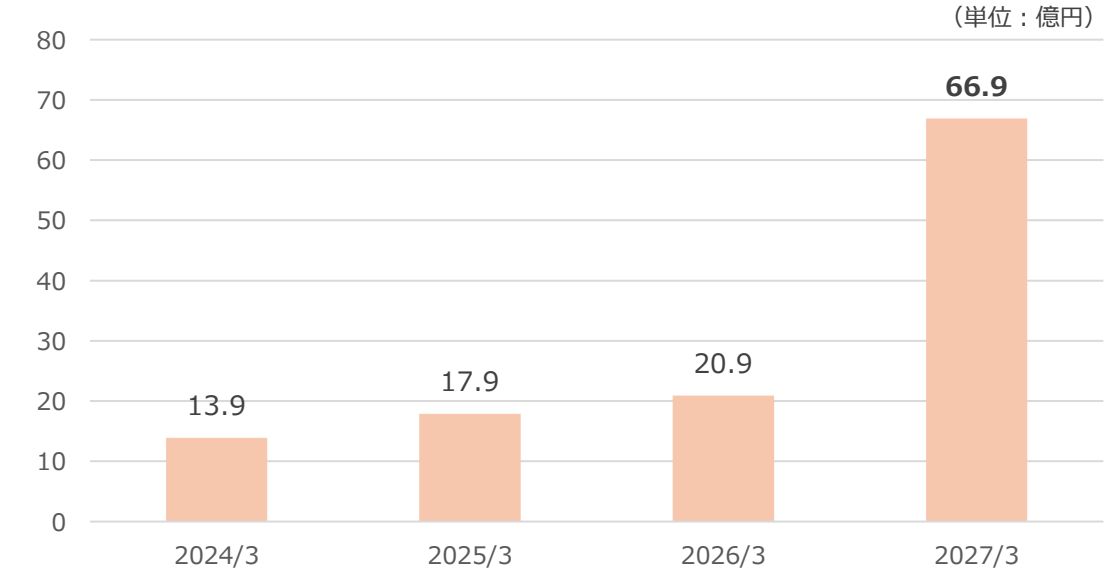
財務資本戦略（自己株式取得・配当）



【自己株式取得】

- 政策保有株式縮減の動きに対応するとともに、資本効率の向上および株主価値の向上に資する観点から、5/14に自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の取得を実施。（1,950,000株/66.9億円）

自己株式取得額推移

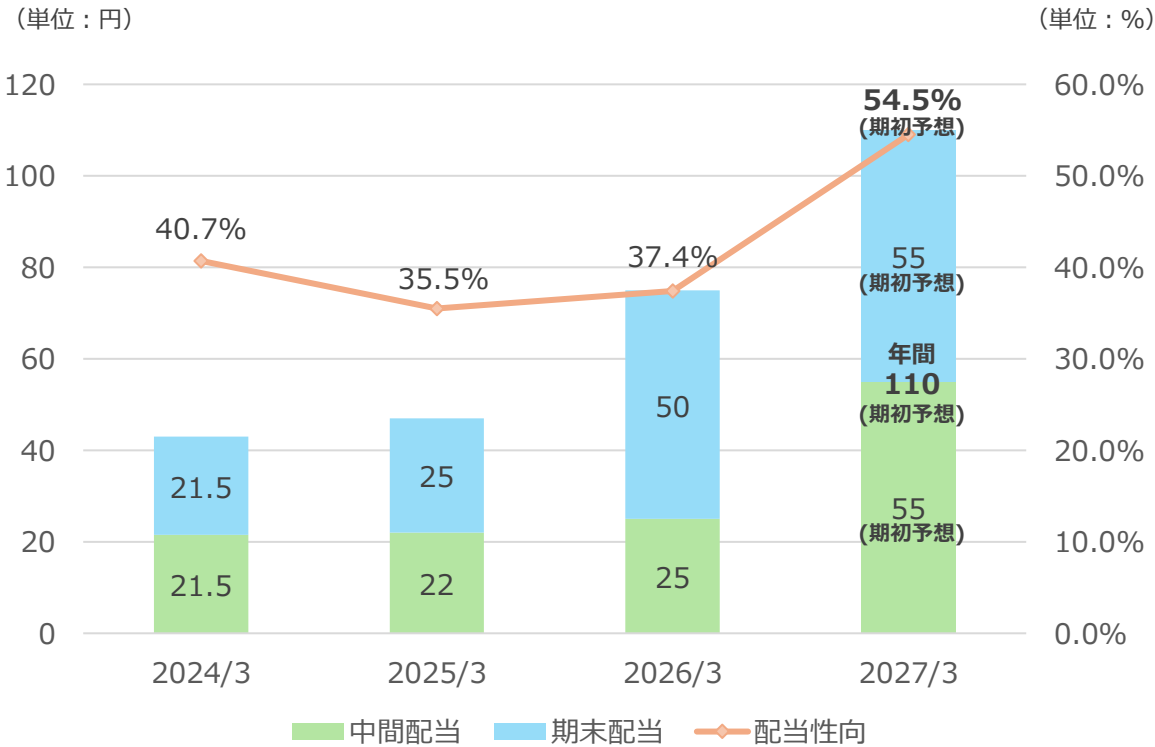


区分	取締役会決議枠 (2026.5.13決議)	市場内立会外取引 (ToSTNeT-3)	取得結果 (取得率)
株式数	210万株	195万株	195万株 (92.8%)
金額	84億円	66.9億円	66.9億円 (79.7%)

【配当】

- 9次中計期間中は、配当性向50%を目安として、持続的な利益成長に連動して安定的・継続的に配当を実施する方針。
- 2027年3月期の中間及び期末配当金は、ともに1株当たり50円とし、これに記念配当10円を加えた計110円とする予定。

1株当たり配当額推移



※ 2026年4月1日を効力発生日として普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施。2026/3期以前の配当については当該株式分割後の基準にて記載。

※ 2027/3期の配当性向予想値は、2026年5月実施の自己株式取得実績を加味した値。

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。
また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【本資料に関するお問い合わせ先】

日比谷総合設備株式会社

管理本部 IR・広報部

〒108-6312 東京都港区三田3-5-27 住友不動産東京三田サウスタワー13階

TEL : 03-3454-2720 FAX : 03-3454-3410